

和洋女大文家政 酒井ノブ子

1. 私は先に農家商家、給与生活者家庭などの家庭管理の問題点について発表した。今回は共稼ぎ家庭の問題点を究明するために、共稼ぎ家庭の主婦について家庭管理能力の測定を行なった。

2. 対象は共稼ぎで、小学生以上の子どものある家庭で、主婦が教員または公務員、その他の事務系、および労務系などの職にあるものをそれぞれ 50 名選んだ。方法は前回までと同じく、私の家庭管理能力測定法を用いて行なった。時期は昭和 44 年中である。

3. その結果、それぞれの立場によって問題点にわずかの相違があることが明らかになった。すなわち行為別に見ると、計画能力はいずれの場合も弱いという共通点はあるが、事務系が他よりも劣っていることが明らかになった。また、いずれも制御能力が最も優れ、教示能力が計画能力と並んで劣っていることは前回までとほぼ同じ傾向である。

次に客体について見ると、三者の間に有意差はなく、いずれも時間の管理が最低で、衣服管理が最高であった。しかし教員公務員では金銭よりも食物その他の管理が上位にあるのに対して、事務系労務系では金銭管理が 2 位にあるという問題の違いが見られた。

なお前回の事務系給与生活者の家庭と比較して見ると、行為、客体ともに有意差はなかったが、給与生活者家庭では衣服の次に食物管理が優れているのに対して、共稼ぎ家庭では金銭管理が次に優れている結果が出た。